

## PIPES Newsletter

Private Investment in Public Equities ~ 第三者割当型エクイティファイナンス

今村公認会計士事務所

代表 今村 吉宏

調査部 今村 彰利

### 2025年4月の案件サマリー

弊事務所の集計によると、2025年4月の案件数は**12件**（2025年累計件数は**69件**）、総額は**約350億円**（2025年累計総額は**約3,000億円**）となった。

1月から3月に比べて、4月は少なかったが、これは日本企業の多くが3月末決算であり、インサイダーフリーな状態が低減することによる**季節的要因**と言えると思う。多くの決算発表がゴールデンウィーク明けに集中し、それによってインサイダーフリーな状態となることで、その後の発行決議はまた多くなると予想している。引き続き、エクイティファイナンス熱は強いと感じている。

No	発行決議日	発行企業	コード	調達予定金額	割当先	手法	騰落率
58	4/7/2025	スター精密	7718	25,000,081,600	Taiyo Pacific Partners Group	新株	-4.7%
59	4/10/2025	オンコセラピー	4564	1,470,870,000	ロングコリド	新株+MSワラント	4.3%
60	4/10/2025	Abalance	3856	490,079,310	龍、コアコンピタンス、DL Green	新株	9.5%
61	4/14/2025	デルタフライ	4598	1,341,191,500	マッコーリーバンク	SB+MSワラント	-3.1%
62	4/14/2025	ポエック	9264	2,000,000,000	野村キャピタルパートナーズ	CB(リセット付)	1.7%
63	4/14/2025	MS&Consulting	6555	88,358,400	Wiz	新株	-8.7%
64	4/15/2025	ニチリョク	7578	501,016,324	プレシード、ロングコリド	新株+固定ワラント	0.0%
65	4/17/2025	オウケイウェイブ	3808	940,107,380	GFA+個人(4名)	新株+固定ワラント	32.1%
66	4/21/2025	アズ企画	3490	745,727,500	三田証券	MSワラント+固定ワラント	0.3%
67	4/25/2025	トリコ	7138	601,767,697	グロースパートナーズ	CB+固定ワラント(リセット付)	-4.3%
68	4/28/2025	AIストーム	3719	1,208,752,666	スペース投資事業組合	新株+固定ワラント	-1.3%
69	4/30/2025	スターマイカ	2975	699,963,400	日本政策投資銀行	新株	0.0%
				<b>4月調達予定額</b>	<b>35,087,915,777</b>		
				<b>1月~4月調達予定額</b>	<b>297,218,022,437</b>	騰落率は発表時株価と月末株価を比較	

上記を見るに、MSワラントより単純な新株発行の方が目立ってきた。これは資本業務提携を前提とする事業投資や金融長期投資が増えてきたことによる。これからも東証の市場改革の中で、資本業務提携案件が増えていくのではなかろうか。

### 4月のMVPディール

筆者とシティバンクにて元同僚だったブライアン・ヘイウッド氏が運営するタイヨウ・パシフィック・パートナーズ（以下、タイヨウ）が出資した下記の案件に決定した。

プレスリリースより以下、抜粋

- 発行企業： スター精密（東証 7718）
- 手法： 新株発行
- 割当先： タイヨウ・パシフィック・パートナーズ L.P.
- 発行株数： 16,108,300 株（希薄化 **38.93%**）
- 割当決議日： 2025 年 4 月 7 日
- 発行価格： 時価の 90% ⇒1,552 円 (**PBR=0.66, PER=12.3**)
- 調達額： 約 250 億円
- 主な資金使途： 工場のリニューアル ⇒153 億円  
M&A ⇒88 億円
- 業務提携： 中長期事業戦略+資本配分政策の検討/推進等
- 取締役派遣： 1 名指名可

割当先の概要は以下の通り。

名称	タイヨウ・パシフィック・パートナーズ L.P.
所在地	米国ワシントン州カークランド
設立	2001 年
代表者	ブライアン K. ヘイウッド
投資戦略	長期投資、ハンズオン投資、フレンドリー投資
主な投資先	アルバック、ローランド、ニフコ、全国保証、オムロン、マクセル



Brian K. Heywood（ブライアン・K・ヘイウッド）/1967年生まれ。1991年ハーバード大学卒業。J.D. パワー（アメリカ）、シティバンク銀行（日本）のヴァイスプレジデントなどを経て、2001年にタイヨウ・パシフィック・パートナーズを設立（写真：タイヨウ・パシフィック・パートナーズ）

スター精密のプレスリリースによると：

「タイヨウは長年、当社の株主であり、当社グループの経営理念・経営方針には常に深い理解を頂いております。とりわけ、当社グループが今般公表した第2次中期経営計画について強くご賛同頂いております。当社グループとも 20年超の関係があり、これまでも 100回を超える面談をし、長年来の関係により構築された信頼関係があり、(中略)、最適なパートナーであると考えに至り、タイヨウに対し、2025年2月下旬頃、本第三者割当増資に係る 初期的打診を行いました。」と、タイヨウをベタ褒めである。

つまり、元来3.76%しか保有していなかったタイヨウに対して、「250億円(希薄化38.93%)出資してくれ」とスター精密からお願いしたというわけで、ブライアンとしては投資家冥利に尽きるというか、相当嬉しかったのではあるまいか。もちろん浪花節や酔狂で投資するわけでもなく、スター精密が立案したエクイティストーリーを完璧に理解し、**PBR=0.66**にて勝算に値する投資判断であったことは疑いもない。

確かに、ブライアンはアメリカ西海岸育ちらしく、明るくおおらかで、人懐こい印象があり、日本企業の経営者にも好かれるのも想像できる。日本好きの本人曰く「厳しい友人」がモットーらしい。さしあたって「青い目をしたサムライ」と言ったところか。

思うに、このケースは事業のプロフェッショナル(経営陣)と資本のプロフェッショナル(タイヨウ)が成功裏に融合したモデルケースになるかもしれないと期待している。

タイヨウからの資金や収益性管理を背景に、東証プライム企業として時価総額を飛躍的に向上させ、また筆頭株主としてタイヨウが用心棒的に存在していることで、コワモテのアクティビストを気にすることなく、経営に邁進し発展していくかもしれない。

今後のスター精密をWATCHしていきたい。

#### お問い合わせ先

- 今村公認会計士事務所
- Phone: 090-1113-1281
- Mail: [y\\_imamura@garden-grp.co.jp](mailto:y_imamura@garden-grp.co.jp)
- Home Page: <https://www.garden-grp.co.jp/>